

令和7年度 大田区立雪谷中学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年3月2日

<p style="text-align: center;"><b>YAS Yukigaya Active School</b> ～常に動き続け、「積極的・自発的」(active)に「より良い学校」を目指す～</p> <p><b>【目指す生徒の姿】</b> 1)自己や他者の良いところに目を向けることができ、自己肯定感が高い生徒 2)コミュニケーション能力、表現力を持ち、他者と協働できる生徒 3)学力・体力の向上を目指し、ねばり強く努力する生徒</p> <p><b>【目指す学校教育の姿】</b> 1)わかりやすく、生徒が主体的に学べる授業 2)様々な個性を持つすべての生徒に対する温かく根気強い支援 3)保護者の思いを理解した、良きパートナーとしての誠意ある連携</p>
---

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄					
								評価	人数	コメント			
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来 し社 す会 を創 造的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	学校評価アンケート 生徒項目1 「学級活動、行事、委員会、部活動等で、友達と話し合ったり、協力しながら活動することができる」	4: 180%以上 280%以上	生徒項目1「学級活動、行事、委員会、部活動等で、友達と話し合ったり、協力しながら活動することができる」と感じていることがわかる。今後も生徒会活動などを通して、生徒が自ら課題を発見し、解決策を話し合い、実行することで自己有用感を高める活動をし、生徒のコミュニケーション能力や自己肯定感の向上に努める。	A	10				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					4	生徒項目2 「映像や図で見せるなど、授業は工夫があってわかりやすい」 の肯定的回答の%		2: 160%以上 260%以上	B	0
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	の肯定的回答の%	1: 160%未満 260%未満		C	0				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					4	生徒項目3 「英語の授業で、ペアワークなど英語でやり取りする活動に積極的に取り組んでいる」		3: 170%以上 270%以上	D	0
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	の肯定的回答の%	1: 160%未満 260%未満		4	生徒項目2「映像や図で見せるなど、授業は工夫があってわかりやすい」への肯定的回答は94.2%であった。良い教育環境としてまず重要なことは「授業がわかりやすい」ということである。ICTの活用により生徒の学習意欲や集中力の向上につながっている。今後も引き続き「わかりやすい授業」づくりに努める。タブレットを活用した多様な意見交換やグループワークなど、生徒が主体的に参加できる「わかる授業」の工夫を教職員間で共有し、継続的に授業改善をすることに努める。				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
お世個 お界別 たと目 をつ標 を担な2 うがる 人材国 を際育 成都市 します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	学校評価アンケート 生徒項目3 「英語の授業で、ペアワークなど英語でやり取りする活動に積極的に取り組んでいる」	4: 180%以上 280%以上	生徒項目3「英語の授業で、ペアワークなど英語でやり取りする活動に積極的に取り組んでいる」 生徒項目4 「環境問題など地球規模の問題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自分なりに考え、行動している」 の肯定的回答の%	A	7				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					4	生徒項目4 「環境問題など地球規模の問題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自分なりに考え、行動している」 の肯定的回答の%		2: 160%以上 260%以上	B	3
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	の肯定的回答の%	1: 160%未満 260%未満		C	0				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					3	生徒項目4「環境問題など地球規模の問題を自分事としてとらえ、その解決に向けて自分なりに考え、行動している」への肯定的回答は75.3%であった。学校や社会での環境教育の成果が現れて、地球規模の問題を「自分事」として捉えられていると考えられる。否定的回答の24.7%については、問題の重要性は理解していても、「自分の行動くらいでは効果がない」と感じている生徒が一定数存在すると考えられる。今後は、身近な環境問題から簡単に取り組めるアクションプランを探究することで、行動の意義を実感できる環境教育の充実に努める。				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	の肯定的回答の%	1: 160%未満 260%未満		D	0				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										

<p>た一個 め人別 のひ目 標礎り 3 とが個 性力と 能力を 発揮す る</p>	<p>児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。</p>	<p>①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	<p>学校評価アンケート 生徒項目5 「友達を尊重し、学校の決まりや集団のマナーを、きちんと守って生活している」</p>	4: 180%以上 280%以上	4	<p>生徒項目5「友達を尊重し、学校の決まりや集団のマナーを、きちんと守って生活している」により、生徒たちは安心して生活し、自己の伸長に努めることができる。今後も現状の良好な規範意識の維持・継続を目指した生活指導に努める。</p>	A	10	<p>・思春期、反抗期、成長期という難易度の高い状況にある子どもたちに、道徳心や体力づくり、心づくりを行うことはとても先生方にご苦勞をお掛けしていることと存じます。感謝しております。 ・質問教室や夏の補習教室、CSの自習教室等の実施で前向きに学習できる環境が整っている事は有難いです。学習だけでなく、生活習慣、健康管理も学校と家庭が連携し、家庭はそれをしっかり取り組んでいる事がわかります。 ・前向きに学習に取り組める…という部分は、学校が学びやすい良い環境が作られている、最適な学習を提供出来ていると評価できると思います。若いという事もあるのか、生活習慣、健康に関する意識はまだ高いとは言えないのか。 ・道徳や生活指導などで“基礎力”は何か、ということが難しくはありますが、引き続き雪中CSの良さである“開かれた学校運営”を継続していただければと思います。 ・基本的なことではありますが、学校のきまり、集団マナーなど、意識して守ろうとしている姿勢がある事が雪中のいいところだと思います。</p>			
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 160%以上 260%以上								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 160%未満 260%未満								
		<p>②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	<p>生徒項目6 「前向きに学習に取り組むことができる」</p>	3: 170%以上 270%以上			4	<p>生徒項目6「前向きに学習に取り組むことができる」への肯定的回答は89.7%であった。学習への取り組み方や学習方法を指導したり、定期考査前に質問教室を開催するなど、生徒が学習しやすい環境整備に努めている。また、夏季休業中の「補習教室」やコミュニティスクールによる「自習教室」を実施している。今後も生徒が前向きに学習に取り組める環境整備を継続し、支援に努める。</p>		B	0	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											<p>生徒項目7 『早寝・早起き・朝ごはん』に取り組む、進んで体を動かすなど、自分の健康に気をつけて生活している。』の肯定的回答の%</p>
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		<p>③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	<p>生徒項目7『早寝・早起き・朝ごはん』に取り組む、進んで体を動かすなど、自分の健康に気をつけて生活している。』への肯定的回答は81.1%であった。『早寝・早起き・朝ごはん』月間には、チェックシートに起床時間・就寝時間・朝ごはんを食べたかを記入し、生徒が自分の生活を振り返り、生活習慣を整えられるようにしている。今後も学校と家庭が連携し、生活習慣の重要性について継続的に指導・啓発していく。</p>	C						0		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		<p>④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	<p>生徒項目7『早寝・早起き・朝ごはん』に取り組む、進んで体を動かすなど、自分の健康に気をつけて生活している。』への肯定的回答は81.1%であった。『早寝・早起き・朝ごはん』月間には、チェックシートに起床時間・就寝時間・朝ごはんを食べたかを記入し、生徒が自分の生活を振り返り、生活習慣を整えられるようにしている。今後も学校と家庭が連携し、生活習慣の重要性について継続的に指導・啓発していく。</p>	D						0		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
<p>学個 校別 力・標 教師 力を 向上 させ ます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	<p>学校評価アンケート 生徒項目8 「授業では、話し合い活動や発表する活動で、友達の見聞を聞いた、自分の考えを伝えたりすることができている」</p>	4: 180%以上 280%以上	4	<p>生徒項目8「授業では、話し合い活動や発表する活動で、友達の見聞を聞いた、自分の考えを伝えたりすることができている」への肯定的回答は91.8%であった。対話的な学びによって、他の意見と比較することで自分の視野を広げ、理解を深められる。その上で思考力・判断力・表現力を育成することは、生きた学力の獲得に欠かせない。本校ではICT機器を利用し、主体的な学びや対話的な学びを取り入れることに力を入れている。今後も意図的に意見交換や発表の機会を設ける授業改善に取り組み学力向上に取り組んでいく。</p>			A	10		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上								
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 160%以上 260%以上								
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 160%未満 260%未満								
		<p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	<p>生徒項目9 「授業では、自分で課題を設定するなど、自分の考えを生かせる活動がある」</p>	3: 170%以上 270%以上			4	<p>生徒項目9「授業では、自分で課題を設定するなど、自分の考えを生かせる活動がある」への肯定的回答は85.2%であった。主体的な学びを重視する授業が効果を上げていることを示している。また、生徒が自ら課題を設定することで、個々の興味や関心に基づいた学びが展開されるため、学習意欲や達成感が高まっている。今後も継続して生徒が自分の考えを発揮できるような指導や活動設計(グループワーク、ディスカッション、プロジェクト型授業など)を推進していく。</p>	B	0		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		<p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p>	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。	4	<p>生徒項目9 「授業では、自分で課題を設定するなど、自分の考えを生かせる活動がある」</p>	3: 170%以上 270%以上					4	<p>生徒項目9「授業では、自分で課題を設定するなど、自分の考えを生かせる活動がある」への肯定的回答は85.2%であった。主体的な学びを重視する授業が効果を上げていることを示している。また、生徒が自ら課題を設定することで、個々の興味や関心に基づいた学びが展開されるため、学習意欲や達成感が高まっている。今後も継続して生徒が自分の考えを発揮できるような指導や活動設計(グループワーク、ディスカッション、プロジェクト型授業など)を推進していく。</p>	C	0
			3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。											
			2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。											
			1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。											

<p>個別目標5 子どもの学びをいきいきと生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	<p>学校評価アンケート 生徒項目10 「いじめを許さない気持ちを持ち、友達とはお互いを尊重して、仲良く生活することができる」</p>	4: 180%以上 280%以上	4	<p>生徒項目10「いじめを許さない気持ちを持ち、友達とはお互いを尊重して、仲良く生活することができる」への肯定的回答は<b>97.6%</b>であった。この項目は、本校が最も重視している取り組みである。いじめを許さず自他を尊重する意識は、教育活動全般において繰り返し指導している。また、否定的回答をしている生徒にも目を向け、日々の声掛けや個別に配慮した教育などの支援に努める。本校では、教員間での情報共有を密にすることで、いじめや人間関係トラブルの早期発見に努め、組織的な対応を心掛けている。今後も継続していくことで、すべての生徒が安心して生活できる学校づくりに努める。</p>	A	8	<p>・小学校では、いじめの指導を丁寧に行っております。素地をしっかり作り、中学校に送り出した。 ・まじめにやっている子たちが負担を強いられる状況・結果にはなってほしくないと思います。解決方法として正解が無い問題だけに、とても難しいことであると理解していますし、各家庭での取り組みも必要と思いますので、双方協力しながら進みたいと考えています。 ・不快に思う言動を取られたり、他者に対しての言動を不快不安に感じている生徒、それらを人に言えない、言うに面倒くさい事になりそうと思ってしまう生徒も潜在的にいるのではないかな。 ・この項目が雪中にとつての最重要項目であるとするれば、そのことやその取り組みや成果などが学校公開のときなどの機会を捉えてなんらか保護者に積極的に伝えても良いかと思いました。</p>					
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 160%以上 260%以上										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 160%未満 260%未満										
		<p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p>	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。	4	<p>生徒項目11 「困ったことがあるときは、先生に悩みを話したり、相談できる」</p>	4: 180%以上 280%以上										
			3: 80%以上100%未満の教員が回答した。			3: 170%以上 270%以上										
			2: 60%以上80%未満の教員が回答した。			2: 160%以上 260%以上										
			1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 160%未満 260%未満										
		<p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	<p>の肯定的回答の%</p>	4: 180%以上 280%以上										
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 160%以上 260%以上										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 160%未満 260%未満										
<p>安全・柔軟な教育環境をつくりやす</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	<p>学校評価アンケート 生徒項目12 「生徒の自主的な活動が活発、行事に前向きに取り組むなど、雪谷中には良い伝統があると思う」</p>	4: 180%以上 280%以上	4	<p>生徒項目12「生徒の自主的な活動が活発、行事に前向きに取り組むなど、雪谷中には良い伝統があると思う」への肯定的回答は<b>90.9%</b>であった。運動会や雪祭りに真剣に取り組むことで得られる達成感などが肯定的回答の高さに繋がっていると推測される。さらなる向上のために伝統の継承のみならず、生徒が自由に新しいアイデアを出し合い、自主性を発揮できる環境を整えていく。</p>	A	10	<p>・地域ぐるみの学校づくりが行われており、地域の人々の顔が見え、安心感のある学校環境である。 ・運動会や雪雪祭以外にも、CS事業の雪中祭りも雪中の伝統行事に加わり、生徒が自主的に前向きに取り組む環境が整ったと感じる。学校公開で、PCやタブレットは学習手段のひとつとして先生も生徒も上手に活用できている。 ・私の世代では書くことの重要性を身に付けてきたので、PC等を使用した学習に心配があったが、有効活用され学習意欲に役立っている事に気付いた。 ・難しいテーマに真摯に、かつ、積極的に取り組んでいただき感謝です。</p>					
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 160%以上 260%以上										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 160%未満 260%未満										
		<p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	<p>生徒項目13 「学習の中でPC・タブレットなどを使うことは自分の勉強の役に立っている」</p>	4: 180%以上 280%以上										
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 170%以上 270%以上										
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 160%以上 260%以上										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 160%未満 260%未満										
		<p>学地学個別目標7 地域の連携・協働による</p>	<p>地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4			<p>学校評価アンケート 生徒項目14 「ボランティア活動やコミュニティ・スクール行事、地域行事など、地域や社会と連携する活動に参加してみたいと思う」</p>	4: 180%以上 280%以上		3	<p>生徒項目14「ボランティア活動やコミュニティ・スクール行事、地域行事など、地域や社会と連携する活動に参加してみたいと思う」への肯定的回答は<b>66.8%</b>であった。否定的回答の割合が他項目と比較すると際立っている。その理由は、「部活動や勉強などの活動を優先」「興味の欠如」などが考えられる。具体的な活動内容や参加するメリットを積極的に情報発信することで、参加へのハードルを下げる必要がある。雪中祭りのように生徒が主体となり企画運営をし、地域・保護者の協力の下、参加者が増加している行事もある。この経験から地域活動への参加に繋げていけるように努める。</p>	A	9	<p>・CSからのアプローチの仕方考え工夫して保護者と共に学校づくりに協力していきたい。 ・夏季休業期間等や放課後を活用し、部活動体験や算数の補習等を実現したいので、ご協力いただけるとありがたい。 ・生徒のボランティア活動への参加が厳しいようですが、今後は防災について、自分ごとと捉え、生徒の意見を聞き、学校、保護者、地域で協力して災害に備えていきたい。 ・PTAや学校協力者としてはどこまで学校へ介入しても良いのか手探りである状況であり、学校職員とのコミュニケーションをより多く取れたらと思う。 ・外で見る子ども達は落ち着いていると思います。今後、もっと子ども達が参加できるようなイベントを企画したいと思います。</p>
					3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					3: 170%以上 270%以上						
					2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					2: 160%以上 260%以上						
					1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					1: 160%未満 260%未満						
<p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3	<p>保護者項目12 「学校は、学校の情報を保護者・地域に伝えている(学校だより、学年だより、HPなど)」</p>	4: 180%以上 280%以上										
	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					3: 170%以上 270%以上										
	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					2: 160%以上 260%以上										
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					1: 160%未満 260%未満										
<p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			3	<p>の肯定的回答の%</p>	4: 180%以上 280%以上										
	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					3: 170%以上 270%以上										
	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。					2: 160%以上 260%以上										
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。					1: 160%未満 260%未満										